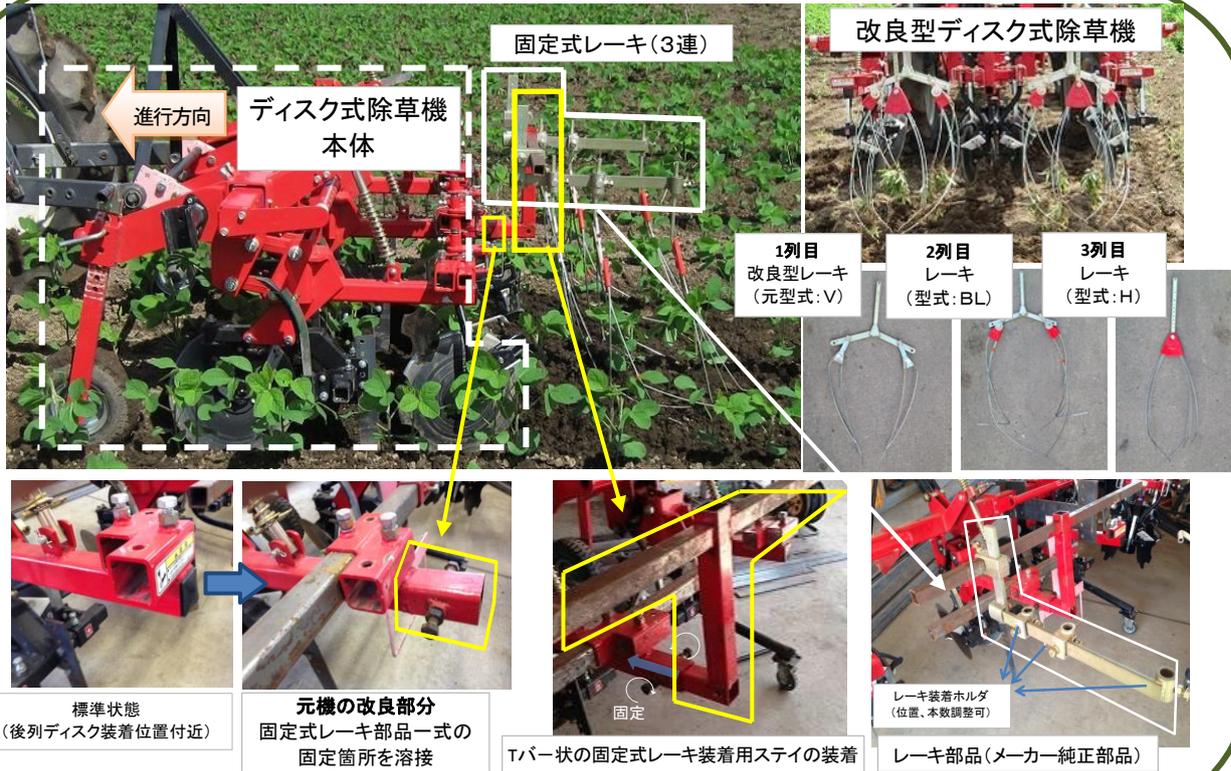


# 研究レポート No.695 岩手県農業研究センター

## 水田大豆の畦立て栽培に適応できる改良型ディスク式除草機

### 【成果の概要】

ディスク式畑用中耕除草機（培土仕様、以下ディスク式除草機）の後部に固定式レーキ（既存製品）を加工装着することにより、慣行のディスク式除草機よりも大豆株間・株際の除草精度が高くなり、播種後概ね30日前後に使用することで、成熟期まで雑草発生量を低く抑えることができます。



### 改良型ディスク式除草機の概要

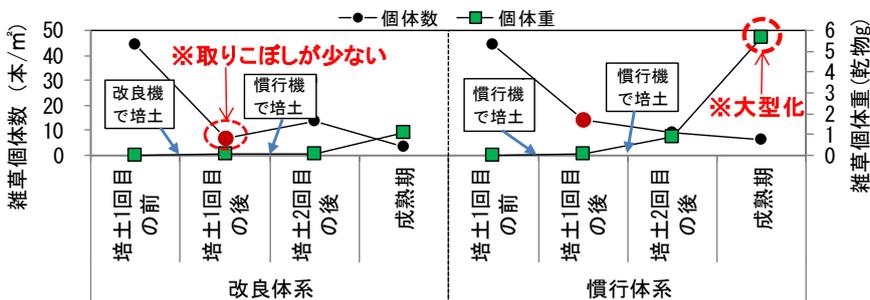


図 株間・株際の雑草個体数と雑草個体重の推移

注1) 転換初年目、播種日6月20日、培土1回目7月19日、培土2回目7月29日  
 注2) 改良体系：培土1回目改良型ディスク式除草機、培土2回目慣行ディスク式除草機  
 慣行体系：培土2回とも慣行ディスク式除草機

※ 改良型ディスク式除草機は、株間・株際の取りこぼしが少ないため、生育後半に大型化する残存雑草が減少します。

### 【留意事項】

- ・レーキは畦の形状に合わせ、培土前の畦の表層から2～3cm以上の深さに作用させるよう設定します。
- ・レーキの作用により畦の高さがやや低くなるため、培土量が不足しないようにディスクの角度・深度等を調節します。